

富秋中学校区等まちづくり検討会議  
ニュースレター

発行：平成31年2月13日 / 富秋中学校区等まちづくり検討会議

住環境・コミュニティ部会（第4回）と  
福祉部会（第3回）の合同部会を開催します！

## 日時・場所

2月27日（水）19時～  
人権文化センター1F大会議室  
（伯太町六丁目1番20号）

## 参加できる方・申込方法

参加資格：和泉市内在住又は  
在勤(学)の方  
申 込：不要

## テーマ・内容は？

今回の部会※は、「このまちに必要な生活機能・サービス」をテーマに、「多世代が住む・交流する拠点」をイメージして、そこがどんな場所になると良いかなど、グループ形式で話し合い（ワークショップ）を行います。



9月の部会でのワークショップ形式での話し合い



1/24 検討会議で出た意見（一部）

※ 今回の部会は、共通した内容が多いため、住環境・コミュニティ部会と福祉部会の合同で行います。

部会には参加できない方のご意見もお待ちしております

問合せ・連絡先

和泉市政策企画室資産マネジメント担当（担当：中埜・山本）

メール【chiikimachizukuri@city.osaka-izumi.lg.jp】 電話【0725-99-8208】



## 前回（第2回）福祉部会のふりかえり

12/6の部会では、「協議の場」での話し合いの内容の共有を行った後、今後部会で議論することについて話し合いました。

### <主な意見>

#### ●「協議の場」を通じた感想・課題について

- どんな活動も人材の確保や体制、決め事を作らないと進まないのだから「協議の場」は必要性が高い
- 人材確保が課題      • 今ある活動をまとめてやれば人材確保につながるのでは
- 防災活動は、隣保館などのまち全体に関わる施設の機能を活用して対応していけばよい

#### ●福祉部会で考えるべきことについて

- 部会での情報をきちんと届けていくことが必要      • 若い人も参加したいと思うテーマも必要
- 地域でお金を稼げる仕事があるとよい、そのために人材育成できる人を連れてくることも必要

## 前回（第3回）住環境・コミュニティ部会のふりかえり

9/27の部会では、和泉市からこのまちの住環境に関する基本的考えを説明し、その後住環境・コミュニティの取組みの方向性のたたき台をもとに、話し合いました。

### <主な意見>

#### ●検討のたたき台について

- このような内容を早急に進めるべき      • いつ頃やるのか決まらないと、判断がつかない

#### ●若い世帯を引き付ける「目玉」について

- コミュニティ維持のため人口を増やすことが必要      • 広い間取りなど住戸タイプを増やすべき
- 「新婚割」「子育て割」など家賃を下げる      • 保育所を年度途中からでも入園しやすく
- 駐車場が有りボール遊び・フリークライミングなどスポーツできる場所

#### ●まちの目指す方向と、その実現に向けたアイデア

- 悩みを持つ子育て世帯や子どもを支える、「温かい人のいるまち」「住みたくなるまち」を目指したい
- 参加しやすいイベントからはじめては      • 小さなイベントを重ね、参加者の声も聞きながら活動づくり
- 多様な人の受け入れには、受け入れ側も学習する必要      • オープンにみんなが参加して活動を進める
- コミュニティに応じた催し物・イベントが必要      • 子ども達がまちに愛着を持てる事がしたい
- プレイパークは地域で運営することができる事業であり、まちづくりのきっかけになる
- 高齢者が気軽に集まり、コーヒーを飲んだりできる（有料でもよいが、安くしてほしい）
- 同時に子どもたちも集まって遊べる場に、多世代の交流ができればよい
- 集まる場は、独立した専用の建物が望ましい。足腰の不自由な高齢者も多いので、EVや椅子座がよい

#### ●市営住宅の建替え・改修について

- 団地内の空き住戸を集まる場にすると、騒音の問題、駐車スペースの問題
- 建替え後はEVが必須。余剰地で“集まれる場”“多様な人が住める住宅”“子育ての拠点”を

#### ●その他まち全体について

- 街の中に点在する商店をまとめて、買い物に行きやすく      • 利便施設は、駅前など便利な場所に集約
- めぐーるバスの停留所をもっと住宅街の中に増やして